

子規博特別講座——冬季子規塾

子規の音——根岸に生きた10年

正岡子規は慶応3年に松山に生まれ、明治35年9月、下谷区根岸で亡くなった。晩年を過ごした根岸はまだ、東京の北の丘、上野の向こうの小さな町、それに続く農村地帯であり、その句には根岸、上野、田端、谷中などの地誌を知らないといわれないものがある。

明治30年代の根岸の地図を参考に、正岡子規の生きた時代、東北の明治29年の震災と津波、研ぎ澄まされた五感などについて語る。



講師 森まゆみ氏

1954年東京都文京区動坂に生まれる。早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学新聞研究所修了。出版社で企画、編集の仕事にたずさわった後、フリーに。1984年より地域雑誌「谷中・根津・千駄木」の編集人。2009年に終刊後は「谷根千・記憶の蔵」を主宰。おもな作品として『鴉外の坂』（新潮社・芸術選奨文部大臣新人賞）、『彰義隊遺聞』（集英社文庫・北東文芸賞）、『即興詩人のイタリア』（筑摩文庫・JTB紀行文学大賞）、『青鞥の冒険』（平凡社・紫式部文学賞）などがある。東京駅をはじめとする近代建築や地域の町家などの保存、活用の仕事にも携わり、現在、日本ナショナルトラスト理事。

令和2年2月23日（日・祝）14時～15時30分
松山市立子規記念博物館 4階講堂

■参加費

無料（事前申し込みが必要）

■定員 400名

■申込方法

[方法]①～③の内容を明記し、メール、FAX、お電話又はご来館にてお申し込みください。

（①氏名 ②電話番号 ③参加人数）

[締切] 令和2年2月16日（日）

[宛先] 〒790-0857 松山市道後公園 1-30

松山市立子規記念博物館「冬季子規塾」係

電話 089-931-5566 FAX 089-934-3416

メール sikhaku@lesp.co.jp

■主催 松山市教育委員会

（運営：松山市立子規記念博物館

指定管理者 株式会社レスパスコパーレーション）



道後温泉駅より徒歩約5分/道後公園駅より徒歩約5分
※公共の交通機関をなるべくご利用ください

松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園 1-30 施設運営・管理/株式会社レスパスコパーレーション <http://sikhaku.lesp.co.jp/>